

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

2010年2月24日

マスコミ関係各位

明治学院大学国際平和研究所 × 第五福竜丸平和協会

市民講座 2010年3. 1ビキニ記念のつどい～「核のない世界」をつくるために！

いま、核兵器の廃絶をめざす動きが国内外で広がっています。しかし、広島・長崎の被爆から65年経った現在も、地球上になお2万発を超える核弾頭が配備され、核兵器に依存する政府・政策も根深いものがあるといえます。

明治学院大学国際平和研究所は、1954年3月1日ビキニ環礁でアメリカ水爆実験により被爆した日本のマグロ漁船「第五福竜丸」の船体保存と資料展示を行う第五福竜丸平和協会と共に、掲記の市民講座を開催します。

第五福竜丸平和協会が大学とイベント共催するのは今回が初めてで、当イベント第1部では日ごろより核廃絶ボランティア活動などに参加する本学学生と他大学生が「ヒロシマ・ナガサキ議定書の絵本」を映像と朗読で紹介します。

世界約3000都市が加盟の平和市長会議が提唱する「ヒロシマ・ナガサキ議定書」は、2020年までの核廃絶の道筋を示したもので、今回学生が紹介する絵本は、この議定書を知ってもらうため昨年製作されました。

今回のイベントでは、学生・教員をはじめ、(財)広島平和文化センター理事長のステイブン・リーパーさんや広島で被爆された山田玲子さんなどをお招きし、「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のイニシアチブやNPT(核不拡散条約)再検討会議の行方、市民にもとめられることなど、日・米・アジアの視点で考えていきたいと思えます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2010年3月6日(土) 13:30～17:30(終了予定)

場所：明治学院大学 白金校舎 本館 10階大会議場 (東京メトロ 白金台駅より徒歩7分)

プログラム：第1部 ●映像と朗読でみる (約20分)

「ヒロシマ・ナガサキ議定書の絵本」

●問題提起 高原孝生(明治学院大学教授、明治学院大学国際平和研究所所員)(約20分)

「核廃絶に向けて運動はどのような役割を果たしてきたのか」

●講演 ステイブン・リーパー(広島平和文化センター理事長)(約60分)

「ヒロシマ・ナガサキ議定書の意義とアメリカ市民に被爆の実像を広める取り組み」

第2部 ●コメントと話題提供(各約15分)

・アーサー・ピナード(詩人)

・張宏波(明治学院大学教授、明治学院大学国際平和研究所所員)

・山田玲子(被爆体験者) ほか

●質疑応答

資料代：500円

共催：明治学院大学国際平和研究所 (<http://www.meijigakuin.ac.jp/~prime/>)

(公益財団法人)第五福竜丸平和協会 (<http://d5f.org>)

問合せ先：明治学院大学国際平和研究所 TEL 03-5421-5652

■取材のお問い合わせは…

明治学院大学 広報室 担当：石井、圓道

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mgquad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>